

芳賀秀次郎生誕100周年記念祭

11月28日、文化交流センターあゆーむにおいて、町出身の詩人で教育者の芳賀秀次郎さんの「生誕100周年記念祭」が開催されました。これは、町内の有志が組織する「生誕100周年を記念する会」（丸川正晃会長）が主催したものです。

同会が今回創設した詩の文学賞「芳賀秀次郎賞」には、町内の各学校から952点に及ぶ詩が応募。最優秀賞には、蚕桑小学校6年の丸川和紗（まるかわなぎさ）さんが選ばれ、受賞作の「大好きなソファア」が本人により披露されました。

また、町少年少女合唱団や白鷹女声コーラスさくら、山形南高OB合唱団が芳賀さんが作詞された歌などを披露。最後には、芳賀さんが昭和28年に作詞し、新国民歌となった「われら愛す」を参加者も含めて全員で歌い、芳賀さんの功績をしのびました。（受賞者は左記のとおり）

※平成27年度白鷹町まちづくり助成事業対象事業



■最優秀

「大好きなソファア」 丸川 和紗（蚕桑小6年）

■優 秀

【小学生の部】
「は」がぬけそうでぬけない このの りお（荒砥小2年）

【中学生の部】
「旅」 青木 拓（白鷹中2年）

【高校の部】
「私の心」 横澤 みずき（荒砥高3年）

■佳 作

「けんか」 ふなやま あもん（東根小1年）

「ちょうちょさんていいな」 やまかわ さえ（荒砥小1年）

「たくさんビール」 紺野 天怜（荒砥小2年）

「いもうと」 さとう ゆい（東根小2年）

「いもうと」 むまざわしゅうと（東根小2年）

「雨の日」 鱧 弥生（荒砥小3年）

「おまつり」 横山 鷲（荒砥小4年）

「雑草」 小形 侑斗（東根小5年）

「野菜ちゃん」 今 思乃（鮎貝小5年）

「遊びたい」 海老名 功太（荒砥小6年）

「私の思いはいつも白鷹町」 青木 心洗（鮎貝小6年）

「犬の夏」 小形 将輝（白鷹中1年）

「夏のだ真ん中なのに」 赤間 英生（白鷹中2年）

「目に映る本当の自分」 橋本 凌太（白鷹中2年）

「牛の運命」 大滝 俊輝（白鷹中3年）

「あとでやる」 大宮 拓真（荒砥高1年）

「居場所」 井上 ひかる（荒砥高1年）

「心に鍵を」 熊坂 智佳（荒砥高3年）

「観察」 柿崎 蓮（荒砥高3年）

不法投棄箇所原状回復作業を実施

■問い合わせ 町民課くらし環境係 ☎8516131

11月5日、山口地内及び鮎貝地内の不法投棄箇所において、地元の方々と、不法投棄防止対策協議会（県産業廃棄物協会、県・県職員）が、原状回復作業を行いました。



▲山口地内八ヶ森に不法投棄されていた、約100本のタイヤを回収しました。



▲鮎貝地内赤坂では、不法投棄されていた、約100本のタイヤと、一般ごみ（プラスチックごみ、衣服、肥料袋等）の回収をしました。

不法投棄の原状回復には多大な労力と費用がかかります。「誰も見ていないから…」、「誰かが片付けてくれるだろう…」。そんな安易な気持ちでポイ捨てしていませんか？

美しいしらかの自然を守るためにも、地域の「目」を光らせ、不法投棄を未然に防ぎましょう。